いきいきシニアライフ
公益社団法人日本産業退職者協会
〔埼玉会だより〕第 39 号　2024(令和 6)年 1 月発行

関根貞夫氏撮影〔日の出〕

年頭にあたり

代表幹事　**石 井　憲**

会員の皆さまには健やかに新年をお迎えになったことと拝察いたします。
まず、元日に発生しました能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみ申し上げるとともに被災されました皆さまにお見舞い申し上げます。

今年の干支の辰は十二支の中で唯一架空の動物ですが、古来より縁起が良い生き物とされているそうです。新年早々に大きな災難が発生しましたが、「災い転じて福となす」となることを祈念しております。

本部では 1 月 8 日にチャリティーコンサートが開催され、500 名を超える参加を得て、成功裏に終了することができました。協会行事の柱の一つであるチャリティーコンサートが 4 年ぶりに大規模に開催されたことは皆さまのご支援・ご協力の賜物と感謝いたしております。また、新規事業として、フレイル防止や認知症の予防・発症を遅らせることを目的とした「いきいきシニア塾」を昨年の 9 月に開講し、好評を博しております。4 回目を 3 月に開講いたしますので、ぜひご参加を検討いただくようお願いいたします。

日退協は今年の 6 月には 40 周年の節目を迎えます。さらなる新規事業、魅力あるイベントを開拓して充実したシニアライフの実現を目指してまいります。

埼玉会は 1 月の氷川神社初詣に始まり、11 月の嵐山渓谷紅葉狩りまで 9 イベントを実施しました。その中には他地域会と共催イベントを実施し、埼玉県外の名所旧跡などを散策する企画も実施しました。今年のイベントは別項に記載しました通り、今年も他地域会との合同開催、他県へ足を伸ばしたイベントなどバラエティに富んだ企画を建てています。会員の皆さまのご友人知人をお誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。

皆さまのご健勝と益々のご発展を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「はつらつふれあいの集い」に参加して

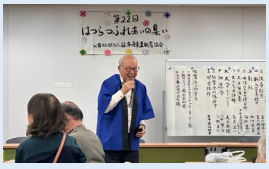
松本 浩（三郷市）

2023 年 11 月 8 日に神保町の鈴三ビルにて開催された「はつらつふれあいの集い」に参加しました。

合気道による痴漢撃退法・歌謡ショウ・大正琴の合奏・抽選会等の演目があり、手作り感満載の進行でした。又、昼食は弁当のほか各種飲み物(アルコール類多数)が豊富で満腹になりました。銘柄は失念しましたが「赤ワイン」がとても美味でした。

私は抽選会で、前回と同様に「ミツウロコさん」提供の横浜駅西口近くにある「SPAEAS」の入浴券をゲットしました。近いうちに行ってみようと思います。

特に痴漢役の「S さん」の迫真の演技に感動しました。(サングラスを掛けた容姿もバッチリ)
次回の「はつらつふれあいの集い」も是非参加させていただきたいと思います。



はつらつふれあいの集い

埼玉会イベントのご案内

イベントチーム　**菊池 正美**

今年度計画のイベントは2月22日予定した長嶋鋳物久喜事業所が見学業務停止のため、1月11日の西新井大師の初詣で終了となりました。

新年度の計画は右表のとおり計画しており、3 月 28 日の「「吉見百穴」の観桜会を兼ねた散策イベントから始まります。イベントごとに奇数月発行のマチュリティニュースと協会本部のホームページにて詳細をご案内いたしますので、①e-mail または、②FAX にてお申し込みください。

1. 2024.01.11(木)「西新井大師初詣・新年会」(第 78 回)(実施済み)
※京葉会と合同開催いたしました。
2. 2024.02.22(木)「長嶋鋳物 久喜事業所」(第 79 回)(中止)

2024年度スケジュール（案）

イベントスケジュール（予定）は下記のとおりです。

記

1.2024.03.28「吉見百穴」散策　お花見自然遊歩(第80回)
2.2024.05.09 館山市「つつじが岡公園」散策(第81回)
3.2024.05.30 埼玉会総会・講演会・懇親会
4.2024.06.27 行田市「忍城及びさきたま古墳」見学(第82回)
5.2024.08.08「納涼会」
6.2024.09.12 所沢市「所沢航空発祥記念館」見学(第83回)
7.2024.11.28「太田黒公園の紅葉と阿佐ヶ谷神明宮」
（京葉会・西東京会と3地域会合同)(第84回)
8.2025.01.09 熊谷市「妻沼聖天山」初詣(第85回)
9.2025.02.20 宇都宮市「大谷石資料館」見学(第86回)

《埼玉俳壇》

爆音のいつもどこかで春遠し

地畑朝子

花言葉

「胡蝶蘭」の花言葉

堰（ペンネーム）

日本では、見た目が「蝶が舞っている」ように見えたので「胡蝶蘭」と言われていて、「幸せが飛んでくる」「共にする喜び」と大変縁起の良い花言葉を持っています。

高級ギフトとして、またお祝いやお供え用に選ばれる理由が、花持ちがとても良い・香りや花粉の心配がない・誰が見ても高級な贈り物だと分かるところにあります。

慕い飛ぶ愛しさ迫り我もいざ
　　待ち望みし深愛迎えん　　御子柴流歌作

がありますが、残念なことに洋蘭のため季語がありませんので俳句は無理。　それでも、

幸せが飛んできさうな胡蝶蘭　　塩千恵子作を見つけました。

それでは質問しますが、差し上げたことは？
戴いたことは？　育てたことはありますか？

「父・森繁久彌を語る」の講演に参加して

伊藤 春江（越谷市）

12 月 6 日に開催されるふれあいトークサロンの事前打合せに千歳船橋の森繁邸を伺いました。駅を降りると「屋根の上のバイオリン弾き」の森繁久彌さんの胸像があり、森繁通りを歩いて、町に愛されているのだと感じました。自宅のマンションに入ってビックリ。森繁久彌さんの表彰状や思い出の品物が玄関からリビングに所狭しと飾られて、博物館のようでした。

講師の建さんは、お父様の久彌さんに似ていて、森繁久彌さんを思い出します。打合せは、森繁久彌さんの歌碑・句碑を訪ねるビデオを見せて頂きましたがお父様に対する強い愛情を感じられました。

さて、当日のトークサロンの講演会はどうでしたかと言うと、前半は森繁久彌さんの経歴やお父様との関わり合いを話されて、森繁久彌という方の人間性に触れた気がしました。後半は、森繁久彌さんの歌碑や句碑を建さんが巡ったビデオを流してのお話でした。

私は、生前の森繁久彌さんはドラマをテレビでしか観たことが無く、映画館で映画鑑賞や舞台の「屋根の上のバイオリン弾き」を観ていません。正直、興味が無かったですね。この講演に参加して、今度機会があったら是非、映画を観てみたいと思っています。

「西新井大師」初詣

仲田 博人（上尾市）

西新井大師は、真言宗豊山派の寺院で、826 年弘法大師が建立したとされ、「関東厄除け三大師」の一つとして多くの参拝者が訪れる。

1 月 11 日 14:00 に大師駅前に 18 人が集合。早速、商店街を参道正面に向かう。参道はかなり短いが、両側には江戸時代から続く門前町が広がり、くず餅、甘酒、草餅、手焼きせんべいなどの店やお土産店が軒を並べ、人通りも多い。私は清水屋で草餅を購入した。謹賀迎春の横幕が張られた山門の前にて記念撮影し、その後広い境内に入り、荘厳な大本殿に登って、各々参拝をした。

境内には、西新井の名の由来となった、弘法大師ゆかりの加持水の井戸がある。その後、四国八十八か所お砂踏み霊場、弘法大師立像、権現堂などを廻り、再び参道に出て大師前駅に戻る。ここで一旦解散して、飲み会参加グループはバスで JR 北千住駅に向かう。居酒屋の開店時間まで、旧日光街道を散策した後、居酒屋「さかなさま」で今年初めての宴となり、大いに盛り上がった。

令和 5 年度チャリティコンサートの感想

新田 七重 （東久留米市）

私は入会したばかりですが、毎年行われていると知り、最近はあまり機会がなかったので楽しみに参加いたしました。会場の銀座ブロッサムが立派なのと、音楽を通じて SDGs の活動とはどう言うことなのかと興味が少しありました。また、チャリティとしての演奏会でしたので気楽に参加できる感じを持ちました。やはり、吹奏楽の生演奏は迫力があり、楽しく分かりやすい指揮者の説明でとても親しみを感じ、元気の出る演奏会となりよかったと思いました。久しぶりに若々しい方々のはつらつとした素晴らしい演奏と、天野陽一さんの魅力的な男性ボイスの歌声にすっかり圧倒されました。最後は、思わず一緒に声を出していて、若返ったつもりになっている自分に驚きました。

感想としては、最初の理事長さんのご挨拶でもお話が出ましたが、新年早々能登地震が発生した直後だけに気持ちが塞ぎがちなところでしたので、元気のでる吹奏楽でしたので本当に良かったと思いました。

そして、当日の役員の皆様方の優しい気配りが一層楽しくしていただけておりました。

エンディングでの天野洋一歌手のパフォーマンス

赤羽は埼玉か東京か

小林 繁治（東京都北区）

小生は赤羽在住。赤羽は区内の荒川を越えるとすぐに埼玉県川口市、戸田市。よく赤羽って埼玉県でしょう、と聞かれることがある。埼玉の人もそう感じている方も多いのではと思うが、東京都北区の北端である。しかし荒川一つ越えると埼玉というだけあって、電車で 3 分の指呼の親しい距離である。赤羽はずっと東京だと思っている方もいるかも。だが、実は埼玉県に所属していた歴史的事実がある。

明治 2 年に明治政府によって設置された浦和県は、今の東京都北区の赤羽・王子地区、板橋区全域、練馬、豊島、新宿区の一部を含む広い行政区だった。

もう一つ。赤羽の北端、北区浮間、板橋区舟渡にわたる浮間公園は昭和初期に荒川放水路が完成すると、元々の埼玉県戸田町とは切り離され飛び地となったため、東京都に編入されたもの。浮間舟渡名所の浮間公園は荒川の本流だった川跡の一部が池になったもの。

そんなわけで、赤羽は二つの都県の懸け橋となる小生親しみの街である。

いきいきシニアライフ
（発行者） 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会
代表幹事　石 井 憲
事 務 局　畠山忠昭
事務局　〒322-0031 川口市青木 1-22-17-902
TEL&FAX　048-259-5917
e-mail　jarp_saitama@yahoo.co.jp

《埼玉俳壇》

寒林を行く人の背にありしもの

地畑朝子